

The Asian-Oceania Forum for Synchrotron Radiation Research (AOFSSR) の kick-off meeting の報告

澤 博 (渉外幹事)

アジア・オセアニア地区の放射光施設・放射光学会の交流を主目的に置いた表題のフォーラムのキックオフミーティングが SRI2006 (韓国大邱) で 5 月 28 日に行われた。

Asia Forum は 1994 年からアジア地区における放射光施設間の情報交換の場として 5 回行われてきた。この期間にアジア地区においては各国で多くの施設が建設され、また多くの研究成果が上がっている。各国の施設は更に高い質の成果を上げるために高度化、次世代光源の建設などの新しい段階に入っている。このような状況下で、科学及び技術提携をより系統的で建設的に行っていくことを目指して、日本放射光学会がイニシアティブをとり Asian-Oceania Forum for Synchrotron Radiation Research (略称 AOFSSR) を提案した。この提案に関係諸国の賛同が得られ、今回のキックオフミーティングが開かれた。このミーティングでは各国の施設から代表者が集まり、AOFSSR 構築の枠組み、つくばのワークショップの内容、第 2 回ワークショップのプランについて議論を行った。AOFSSR の Committee メンバーは、Richard F. Garrett (ASRP), In Soo Ko (PLS), Keng S. Liang (Vice Chair: NSRRC), Herbert O. Moser (SSLS), Rajendra. V. Nandedkar (INDUS), Weerapong Pairsuwan (NSRC), Osamu Shimomura (Chair: JSSRR) and Hongjie Xu (CSSRR) である。AOFSSR 第 1 回ワークショップは 11 月に筑波で行われることになっており、さらに第 2 回は来年秋に ASCA と連動して台湾で開かれることが決まっ

た。

また、SRI2006 では現地実行委員会の好意により、AOFSSR の宣伝ブースを企業展示会場において提供して頂き、多くの SRI 参加者に宣伝活動を行うことができた。この際には研究者だけではなく、企業側からもアジア地区における展開の可能性の打診など、この業界の息吹を感じる事が出来た。

なお、つくばでの第一回ワークショップの詳細については <http://pfwww.kek.jp/AOF2006/> を参照頂きたい。

